



創立 1993年12月1日
事務局 〒286-0106 成田市取香 500
ホテル日航成田
TEL/FAXL 0476-24-5044
例会場 ホテル日航成田内
TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

【 会長 ホルガー・クナーク 】

成田コスモポリタンRCターゲット
「機会をとらえ、Take an action!」

〔会長：藤崎 政弘〕

第 1288 回 例会

令和2年7月29日（水）

《米山奨学生卓話》

- ◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテストの唱和 加藤 栄徳 会員

◇ お客様紹介

米山記念奨学会・奨学生 アリム・イケラム 様
成田ロータリークラブ 渡辺 孝 様



◇ ニコニコ BOX

- ・遠藤 忠義 会員

《こんにちは。昨年の春から顧問をしておりますホテルが 7/17 にオープンいたしました。名称は「ホテルかずさや」です。場所は日本橋本町で、最寄り駅は JR ですと新日本橋、神田、地下鉄では三越前、小伝馬町で、いずれも徒歩で1分～4分くらいの所にあります。130年前、旅館からスタートしたホテルです。施設は客室の他、男女の大浴場、80名くらい収容の会議室兼宴会場、直営のレストランがあります。是非何かの機会にご利用いただければと思います。》



◇ 会長挨拶 藤崎 政弘 会長



会員の皆さん、こんにちは。先週は、ガバナー公式訪問例会という事で、クラブにとっての上期の大きな事業が無事に終了いたしました。ご出席いただいた会員の皆さん、Zoomでの参加、またメイクアップをしていただいた会員には大変ありがたく、感謝いたします。お陰様で、役員懇談会、公式訪問例会、クラブ協議会と漆原ガバナーの人柄に触れ、和やかで充実した時間を持つことができましたと感じております。これもまた一つの機会として、我がクラブとしての発展に繋げていければと思います。また遠藤 SAA 長の計らいで、前日が土用の丑という事で、当日は美味しい鰻丼を手配いただき有難うございました。漆原ガバナーも大変感動されておりました。日航ホテル澤田さんはじめスタッフの皆さん、食事のご配慮また設営にはご協力を頂き有難うございました。また成田 RC の渡辺様、お越しいただきありがとうございます。ごゆっくりお過ごしください。

さて本日は、我がクラブで受け入れています米山奨学生のアリム・イケラムさんより卓話を頂きます。アリムさんについては、卓話で紹介があらうと思います。

この米山記念奨学会は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の運営のもと、ロータリー日本国内全地区合同プロジェクトであります。若干この奨学会に触れますと、日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京 RC が 1952 年 12 月に設立し、翌 1953 年に募金を開始しました。1967 年 7 月に文部省の許可を得て財団法人となり、2010 年 1 月公益法人制度改革により、現在の公益法人格となっております。外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体であり、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

目的は、将来母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは、「(1)学業」に対する熱意や優秀性はもちろん、「(2)異文化理解」「(3)コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれるそうです。米山奨学生の採用数は、年間 860 人の枠があります。国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも、国内最大です。日本には約 2,300 のロータリークラブがあるので、3 クラブに 1 人は米山奨学生が存在する計算になります。

特色としては、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援となります。奨学生は、月に 1 回は例会へ出席し、そこで奨学金の受け渡しがあり、スピーチや、親睦活動・奉仕活動への参加を求められます。

アリム・イケラムさんにおかれましては、米山記念奨学会の理念をよく理解いただいたの奨学生となりますので、今後の国際的な活躍を祈念しました、当クラブ会員との交流も深め、色々な事を学んでほしいと思います。クラブとしても応援していきます。以上会長挨拶とさせていただきます。有難うございました

◇ 委員会報告その他

◎ 退会のご挨拶 加藤 栄徳 会員



誠に残念でございますが、本社へ 8 月 1 日付で異動することになり、成田コスモロータリークラブを退会することになりました。皆さんにあたたかく迎えていただき、成田の歴史など色々お話を伺い非常に有意義な時間でした。皆様との出会いを大切にして、より一層精進してまいりたいと思います。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

◎ 親睦活動委員会 菊地 裕文 委員長

来週の例会は 8 月 5 日 (水) 納涼例会をビューホテルさんにてバーベキュー例会を予定しています。18 時受付開始で 18 時 30 分点鐘です。参加申込がまだの方は直接、私までご連絡ください。現在 33 名の参加申し込みがあります。また、8 月 19 日の例会は ZOZO マリンスタジアムでのロッテ観戦の例会です。こちらの参加申込も、私までご連絡ください。



◇ 幹事報告 岩澤 弘 幹事

■回覧：なし

■例会案内・変更：なし

■その他：・先週の漆原ガバナー公式訪問例会でのクラブ協議会では皆様にご協力いただきありがとうございました。

・8 月第一例会は納涼例会の為、8 月理事会をこの後、この会場後方で開催いたします。理事・役員の方につきましては残っていただきますようお願い致します。



卓話 米山記念奨学会 奨学生 アリム・イケラム 様



皆様、こんにちは。私は昔のシルクロードの地域の 1 つであり中国の新疆ウイグル自治区からきたウイグル人のアリム・イケラムです。現在、千葉大学医学薬学部先端医学薬学専攻博士 3 年生です。今年 4 月からロータリー米山記念奨学会の奨学生になって、成田コスモポリタンロータリークラブのお世話になっております。今日私は『私と日本』というトピックで自己紹介と共に今までの留学生活での行った活動についてお話をしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

今日出席していただいた皆様およびシルクロードについて興味がある方は、ウイグルという言葉はよくご存知だと思いますが、私が自分で接した若者の中でこの言葉を全然知らない方もいます。今日はまずできるだけ簡単にウイグルという言葉の由来を説明していきたいと思います。

Wikipedia によると、ウイグルは 4 世紀から 13 世紀にかけて中央ユーラシアで活動したテュルク系遊牧民族及びその後裔と称する民族を指します。1 つ目は中央ユーラシア、昔から私たちの先祖が住んでいた地域で、今までも私たちがこの地域で生活活動を行っています。この地域はウイグルの由来地です。2 つ目はテュルク系遊牧民族、私たちはテュルク系言葉の 1 つでありウイグル語を使っている、別のテュルク系民族と類似な生活スタイルおよび文化を持っている民族です。この 2 つの言葉を覚えていただければ、ウイグルについての理解ができると思います。

また、ウイグル文化の代表としてウイグル十二ムカムがあります。ウイグル十二ムカムとは、ムカムという伝統楽器のオーケストラによる組曲です。すべて演奏すると 24 時間かかる壮大な楽曲で、ウイグル民衆の中で誕生し、16 世紀にシルクロードで栄えた国の宮廷で洗練され、音楽と詩と舞踊の総合芸術です。YouTube などでも探すのは可能なので、興味がある方は探してみてください嬉しうです。もちろんこれもウイグル文化に接する良い機会だと思います。

中央アジアの地域に住んでいるウイグル人は特に多く、この中で最も多い地域は私の故郷であり中国の新疆ウイグル自治区です。新疆ウイグル自治区は中国の最西部に位置しており、インド、パキスタン、アフガニスタン、タジキスタン、キルギス、カザフスタン、ロシア連邦、モンゴル国の 8 カ国

と国境を接し、国境線の総延長は約 5,700km に達します。国境を接する国の数は、中国の行政区分で最大です。面積は 1,665,000 平方キロメートル、人口は 2,500 万人、主要民族はウイグル族、漢民族、カザフ族、回族、キルギス族、モンゴル族、東郷族、タジク族、シボ族、ウズベク族、タタール族、オロス族など多くの民族が住んでいる地域です。



なぜ新疆ウイグル自治区はシルクロードの中で最も重要な地域かと言うと、西安から始まったシルクロードは蘭州を通じて、敦煌で 2 つのルートに分かれます。トルファンでまた 2 つに分かれ、西域南路、天山南路、天山北路など 3 つのルートは新疆を通過する必要があります。ユーラシアへの唯一の道というのは新疆の最大の特徴です。このため昔から新疆はシルクロードで特に重要な地域として存在していました。新疆は地域が広く、四季のはっきりしたエリア

なので、たくさんの自然の景色を楽しむことができます。例えば、サハラ砂漠に匹敵できるタクラマカン砂漠、アルプスに匹敵する天山山脈、夏の厳しい暑さと冬の極寒などです。

次に私の出身地のウルムチ市についてご紹介したいと思います。ウルムチは、新疆ウイグル自治区首府です。自治区人民政府が設置される中国西部最大の都市です。言語・文化・経済の面などにおいて、中国の東部よりもタシュケントのようなはるか西方の各地とより強く結びついています。ウルムチは、天山山脈の東に位置する大都市で、面積は 14,580 平方キロメートル（新疆総面積の 1/114）、人口は 250 万人（新疆総人口の 1/10）となっています。

私は高校卒業までウルムチで生活しました。両親とも教師で、両親の指導と影響下で、どのような人が私たちの社会の発展と進歩に貢献できるのか学んできました。大学はもっと大きな異なる文化がある大学に進むために、中国古代の諸王朝の都となった長安である、西安市にある西安交通大学に進学しました。少数民族として大学入学前の一年間国語を勉強する義務があるため、2009～2010年に中国のもう 1 つの大切な地域である江西省南昌市で、一年間大学入学前の予備学校で勉強をしました。その後、2010～2014年に西安交通大学医学部の薬学科で四年間の学部生活をしました。ウイグル人の多い環境で育ってきた私が、全国各地から来たいろんな民族や異なる出身の同級生と新しい環境と一緒に大学生活を過ごしました。新しい環境で、異なる文化、異なる宗教、異なる国から来た様々の方と友人になり、人との繋がりの大切さを学びました。一緒に暮らすことで、新しい人間関係を築くだけでなく、さまざまな民族や国の文化を学び、理解を深めることができました。その影響で私は大学生時代から、視野を広くもつことを最も大事にしています。そして自分の能力を磨くために 2014年、大学を卒業してすぐ、日本に来て留学生活を始めました。

なぜ日本を留学先として選んだのかというと、子供の頃から大学の家族区で育ってきた私が感じたことですが、留学した周りの多くの教師や医者の中で留学先として日本を選んだ方が多かったからです。その影響で、私の中でも『日本』という素晴らしい先進的で国際化した国および民族の文化を勉強し理解したいという気が非常に強かったです。また、大学に行って医療関連分野を自分の専門として勉強した後、医療分野世界トップである日本で最高の研究環境を取得することが可能ということもありました。こんな先進国で競争の激しい環境の中で自分の能力を磨きたい希望が非常に強かったために、大学卒業後、就職の道を選択せず、日本への留学の道を選びました。

次は私の日本での留学生活についてです。はじめに 2014年 10月～2015年 3月、千駄ヶ谷日本語学校（東京）で半年、日本語を勉強しました。この間、千葉大学真菌医学研究センターの矢口貴志先生とお会いする機会があり、そこで勉強することを決めました。2015年 4月～2016年 3月、千葉大学・

真菌医学研究センター・研究生として勉強を始めました。一年間の研究生後、無事に修士過程に入学して研究を続けました。現在は博士課程に在学中です。

私の研究は、人に病気を引き起こす『カビ』についての研究です。カビというのはもう1つの呼び方として真菌と言います。人に病気を起こす病原体としてはいくつかの種類があります。細胞の大きさの順番で言うと、寄生虫、真菌、細菌、ウイルス、プリオンなどです。皆様よくご存知のHIVや世界的に流行中のCOVID-19新型コロナウイルスはウイルスに所属しています。私が注目しているのは、真核生物に所属しているヒト細胞に類似な真菌です。真菌の形態は大きくふたつに分けられます。糸状菌と酵母です。私の研究でさらに注目しているのは糸状菌です。真菌感染症は病巣の部位によって3つに分類されます。表在性、深部皮膚、深在性真菌感染症などです。表在性真菌感染症は皮膚および粘膜などの部位で発生します。代表的な病気として白癬、癬風、カンジダ症などです。深部皮膚真菌感染症は真皮および皮下組織などの部位で発生します。代表的な病気としてスポロトリコーシス症およびクロモミコーシス症などです。深在性真菌感染症および内臓真菌症、全身性真菌症とも呼び、主に日和見感染症として、肺や腸管など全身の各臓器に生じます。代表的な病気として播種性カンジダ症、侵襲性肺アスペルギルス症などがあります。

今私が行っている研究テーマは除菌剤（PHMB）に対して驚異的な耐性を示すペシロマイセスの耐性機構の解明です。ペシロマイセスは、糸状菌の一種であり、免疫不全患者および昆虫にも感染します。PHMBは、細菌、真菌、寄生虫およびある種のウイルスを殺菌し、消毒薬として、臨床、家庭および産業で幅広く数十年にわたって使用されています。これまでPHMBに対する耐性を有する糸状菌は報告されていませんが、最近、我々は、PHMBを含む製品に糸状菌が混入していることを発見しました。この単離された真菌は、ペシロマイセスとして同定されました。この耐性機構を解明するために、ペシロマイセスに対するPHMB耐性の誘導研究を行っています。この研究は日常生活のすべての側面に大きな貢献が期待できると思います。臨床面では、病気の治療や病気の予防について重要な情報を提供します。提供される遺伝情報は、遺伝子治療の重要な基礎となります。農業面では、新しい有効性の高い、安全な殺菌剤開発の基礎研究となります。

私は真菌医学研究センターおよび千葉大学医学研究科の先生方のお陰で、以上な研究活動を行って、日本国内および国際学会などでもいろんな研究発表をさせていただきました。また、千葉大学リーディング大学院プログラムの一員になって、リーディング大学院生として2015年ノーベル生理学・医学賞受賞者の大村智先生のレクチャーに参加する機会もいただきました。

また、ロータリー米山記念奨学会と同じように、社会に対する責任感および奉仕の精神が強い方々が集まった民間奨学財団の1つである『東急財団』の奨学生になりました。2017年4月から2019年3月まで、2年間『東急財団』のお世話になっており、経済的なサポートだけではなく、いろんな日本の文化を体験する機会もありました。この間、文化体験として陶芸、茶道および国立演芸場で日本の曲芸など多くのことを体験しました。学校以外の文化関係の活動により視野を広くすることができました。留学生の私たちにこんな最高の活動を主催いただいた『東急財団』の関係者の皆様に、心より感謝を申し上げたいと思います。今後、ロータリークラブでもいろんな活動を行う予定がありますし、いろんな方と接する機会がありますので、お互いにもっと深く理解いただけることを楽しみにしております。

私は将来、奉仕の精神を身につけた、医療研究分野を通じて社会に貢献できる人間になりたいです。自分の専門知識を通じて社会に貢献したいと強く希望しています。実用化されずに埋もれていく研究を、非常に残念に思いますが、そのため、私は応用研究を中心とする研究者を目指して頑張っていきたいです。また、日本の先端科学と豊かな文化を地元の人々に紹介して、両国の架け橋になりたいと

思っています。

私の目指している将来像のもう1つのポイントとして、皆様のように社会貢献の最前線で頑張っている『ロータリアン』になりたいです。ロータリー米山記念奨学会の奨学生になった、このきっかけを大切にして、ロータリー米山記念奨学会および日本との縁を続けるために、以下のことをやっていきたいと思えます。1つ目は、ロータリークラブの中国および中央アジアでの事業推進に貢献したいです。例えば、新疆ウイグル自治区でロータリークラブの事業を行うきっかけがありましたら、中国だけではなく、中央アジアのすべての国はこの利点を取得して、もっと多くのメンバーに参加してもらい、もっと多くの人を助けることが可能です。そのため、地元で社会貢献活動を行うのは非常に意味があることだと思います。2つ目は、日本と母国の懸け橋になって、共同研究や共同事業などに貢献したいです。日本と母国の共同研究だけの架け橋になるのではなく、ほかの事業およびビジネスでも架け橋になって、より多くの人々に利益をもたらしたいです。また、いろんな社会活動や人生に対して、皆様から学ぶことが沢山ございますので、交流の時に色々教えていただければ嬉しいです。ぜひお願いいたします。

最後に、今日のスピーチを私の最も好きな文章で終わりにしたいと思えます。

"You become what you believe." 人生は信じた通りになる

私はご支援いただいた皆様への感謝および奉仕の精神を忘れず、皆様のような社会に貢献できる人間になることを信じて頑張っていきます。ご清聴ありがとうございました。



◇ 点 鐘 藤崎 政弘 会長

◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日 付	会員数	免 除	出 席	欠 席	M U	出 席 率	補 正 出 席 率
前々回修正	7月15日	71名	5名	38名	29名	2名		57.97%
本日例会	7月29日	72名	5名	34名	31名	3名	54.41%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香 500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022